

## 1-3 民主政治のしくみと現状 <基礎編>

民主政治のしくみにはどのような種類があるだろうか？

### 政治と法

政治とは、人間社会における多種多様な利害対立を調整し解決する営みのことである。その意味では、人間が複数いるところでは常に政治がおこなわれていることになる。しかし通常「政治」という場合には、国や地方自治体の運営をさすことが多い。政治の営みを通して問題解決のために生み出された決定が法である。民主政治とは、王の独断（人の支配）ではなく人民の話し合いで法を決め、法に基づいて社会を運営していく営み（法の支配）だと言い換えることもできる。

### 直接民主制 間接民主制

民主政治は、リンカーンの言葉にもあるように「人民の人民による人民のための政治」である。この「人民による政治」には、大きく分けて直接民主制と間接民主制とがある。

主権者である国民が直接政治をおこなうのが直接民主制であり、これに対して国民の代表者をとおして政治をおこなうのが間接民主制（議会制民主主義）である。現代では間接民主制が主流であるが、それを補うために国民投票のような直接民主制的な制度を導入することもある。日本国憲法も間接民主制を基本にしつつ、憲法改正の際の国民投票などを定めている。

#### 【①】

直接民主制は、民意を直接に政治に反映することができる点で優れているが、規模の大きな社会で多数の人々が実質のある議論をおこなうことは困難である。他方、間接民主制は少数の代表者によって実質的な議論ができるという点は優れているが、政治が民意と離れる危険性もある。

### 議院内閣制 と大統領制

間接民主制をとる場合、大きく分けて議院内閣制と大統領制という二つのしくみがある。議院内閣制は国民の代表者からなる議会が内閣を選び、基本的に議会

と内閣が一体となって政治が運営されるしくみである。これに対して大統領制は元来、国民が行政の長である大統領と議会議員の両方を選び、大統領と議会が互いに監視しながらそれぞれが権力を行使するしくみである。

両者を比べると、三権分立制と大統領制とはきわめて明確な関係があった。これに対して議院内閣制では議会と内閣との関係が密接であり、権力融合の側面をもつ。【②】

①ヨーロッパ諸国では、欧州連合（EU）に加盟するかどうかを国民投票で決めている場合もある。

コメント [n1]: 2007 年度教科書『現代社会』（東書・現社 001） p 112

②ただし大統領が常に行政の長であるとは限らない。例えばドイツでは大統領は行政の長ではなく国家の象徴的存在であり、大統領とは別に置かれる首相が行政の長となっている。

コメント [n2]: 2008 年度教科書『現代社会』（東書・現社 017） p 124

コメント [n3]: 2008 年度教科書『現代社会』（東書・現社 017） p 124

コメント [n4]: 2007 年度教科書『現代社会』（東書・現社 001） p 112。